

# HB-style


特集

## 新メンバーの紹介

物理科学科ソフトボール大会

## 栄光の記録

2009  
Apr. | vol. 2

 光物性研究室

# 光物性研究室 新メンバーの紹介

2009年春、谷口研究室に4人の研究者が産声をあげた。ただがむしゃらに学び考える彼らの叫びが世界に届く日はそう遠くない。谷口研にまた新たな1ページが書き加えられた。



## 金 聖憲 (キム ソンホン)

今回新しく光物性研究室に入りました4年の金聖憲(キム・ソンホン)です。韓国ソウルから着ました。これから研究室のいろんな装置を使って自分で実験することを考えるとわくわくします。早く研究室の雰囲気になって、楽しく研究していきたいと思います。よろしくお願いします。



## 長門 真平 (ナガト シンペイ)

今年度光物性研究室に配属された長門真平です。僕が光物性研究室を希望した理由は、高温超伝導の発現のメカニズムに興味を持ったからです。BCS理論では説明ができない、この不思議な現象の解明にほんの少しでも携わりたいと考えています。また、これからの研究生活で人間的にも成長したいと思っています。よろしくお願いします。



## 羽瀨 隆文 (ハブチ タカフミ)

今度、光物性研究室でお世話になることになった羽瀨です。光物性研究室では HISOR を使った、最先端の研究が行われています。そんな中で、自分を高めていけたらいいなと思い、この研究室を志望しました。先輩たちはとても大きく感じますが、少しでも追いつけるように頑張りたいと思います。



## 宮原 寛和 (ミヤハラ ヒロカズ)

初めまして。光物性研究室に配属された宮原寛和です。広島県出身で、音楽を聴いたり、ギターを弾く事が趣味です。ちなみにお酒も好きです笑”この研究室を志望した理由は、物性の研究がしたかったことと、広島大学で最先端の研究が行えることに惹かれたからです。これから先輩方にお世話になりながら頑張っていきたいと思います！！

# 祝!! ソフトボール大会 優勝



## 小雨吹き荒れる

4月27日(日)物理科学科ソフトボール大会。時折会場を吹き抜ける冷たい風と小雨が選手達の体温を奪う最悪のコンディション。メンバー全員が体を震わせ、体を温めようとキャッチボールやランニングを行った。

## 光大好き

そう、俺たちは光が大好きだ。シンクロトロン放射光が大好きだ。そんな気持ちから名付けたこのチーム名。メンバー全員が共有し、声を掛け合い試合は始まった。第一試合、第二試合は手探り状態。みんなボールに慣れていないことと寒さの影響で守備体系が崩壊する。やはりゴロは経験者くらいしかさばけない。でも、フライなら任せろッ。そんな気持ちが前面に出ていた金君。フライキャッチの時にグラブより先に素手で補給するという離れ技を披露する。味方だけではなく、相手

チームからもどよめきが起こる。そう、気持ちだ。「勝つ」という気持ちこそそうさせるんだ。

## 勝利の女神

野球は9回から勝負、というのは今大会では通用しない。1回から真剣勝負。肩を震わせる男どもはコツコツと4人掛かりで1点を奪取する。しかし、颯爽と現れ鮮やかに1点をもぎ取るヤツがいる。光大好きチームの勝利の女神、内海有希だ。内海は打てない男どもを横目に毎試合得点を稼ぎだした。守備では鉄壁の守りを披露し、エラーゼロ。女神の活躍が光大好きチームを勝利へと導いた。

## パパパパワー

決勝戦。息詰まる投手戦。得点がないまま回は進む。試合も終盤。全試合完投し全力投球で挑み続ける木村准教授にも疲れがみえる。長短打で壘が埋まり、4番を迎える。「パパー、頑

張ってー!」。響き渡る甘い声。二人の娘さんと奥様がベンチからエールを送る。声を聞くたびに木村准教授の球威は増し、気がつけば三振の山。最終回。最後のバッターも三振に仕留め、戦いを終えた父は家族の元へ。記憶に残る力投だった。

## 渾身の拳

両チーム得点がなく試合は終わり、最終決着はジャンケン。主将古本がチームの運命をかけて勝負に出る。ジャンケン一回目。二人の手元に視線が集まる。あいこ。どよめく会場。二回目、あいこ。三回目、あいこ。最終決戦に相応しい緊張感とプレッシャー。これが最後だと繰り出した古本の右手は、相手チームを打ち負かす渾身の拳。光大好きチーム、物理科学科ソフトボール大会優勝!皆ハイタッチで喜びを分かち合った。谷口研の結束の堅さを証明した大会だった。

## 新メンバー配属の花見会

4月6日(月)、谷口研究室に新たな研究生が加わった(詳細は「新のメンバー紹介」参照)。毎年4月に谷口研では研究室配属記念として鏡山公園で花見会を開く。鏡山公園は広島大学から徒歩10分程の所にあり、30種類の桜が700本植えられ桜の名所として親しまれている。当日の天気は晴れ。桜は7分咲きで絶好の花見日和であった。始めに、谷口教授から新研究生への歓迎の言葉を頂き、乾杯が執り行われた。その後、新研究生と



在学生の自己紹介を行い親睦を深めた。たわいもない話から新研究生との共通点を見だし、院試や研究内容などの話に花を咲かせた。

## 交通安全講習会

4月7,8日、広島大学サタケメモリアルホールにて交通安全講習会が行われた。本大学に通う学部生や大学院生は、大学の立地条件と地域性から車で通学する者も少なくない。本講習会では、学生が交通事故を引き起こさないように、また、巻き込まれないよう注意喚起する目的で毎年4月と11月に行われている。初めに東広島警察署による交通安全の心構えと安全対策についての講演があった。講演では、西条町周辺で事故が多発するポイントの紹介や、飲酒運転の危険性とその厳罰化についての解説があった。続いて総合科学部駐車場に移動し、東広島自動車学校による実際の車を用いた実演が行われた。走行前のメンテナンス方法から始まり、空気圧の減ったタイヤで走行した場合の制動能力の低下、ABS搭載車と非搭載車による濡れた路面の制動距離の比較、車 v.s 自転車の衝突実験などが行われ、安全運転の重要性についての指導が行われた。本講習会を受講することで広島大学に入校する際必要な駐車証・パスカードが発行される。今回参加できなかった学生は11月の大学祭期間中にもう一度申請期間がもうけてある。忘れずに参加しよう。安全運転に勝るものは無い。学内・学外を問わず譲り合いの気持ちを持って安全運転を心がけてもらいたい。

## 日本物理学会の参加報告会

4月23,30日、光物性セミナーの前に日本物理学会の参加報告会が行われた。谷口研究室では、日本物理学会などの国内学会や国際学会などに参加した研究生に学会報告を義務づけている。それは、自分の研究内容をどのように発表し、どのような質疑応答を行ったのか、発表した領域ではどのような話題がホットなのかを共有し、相互理解するためである。報告は、1人10分程度で発表を行い、その後フリースタイルで議論が交わされる。発表者には、物理学会で区分されている領域を越えた疑問・質問や専門的な質問が浴びせられる。そのため、自己知識の曖昧さや理解の不十分さを再認識することができ、今後の研究方針や発表態度等の参考となる。

### 編集部からのお知らせ

#### スタッフ募集

HB-Styleの企画・編集に参加していただける方を募集しています。希望される方は声を上げてください。いつも側にいます。

#### 企画の募集

取り上げてほしい企画、テーマを募集しています。気軽にお寄せください。

#### 今後の企画について

「液体窒素の汲み出し」、「液体Heの汲み出し」、「The放射線管理」、「理学部D棟」などのトピックを考えています。

#### 発行予定について

毎月の発行を予定していますが、作者の都合により遅延、または休刊となる場合があります。ご了承ください。

企画・編集 : 安齋太陽、黒田健太

編集・取材協力 : 古本一仁

